

船橋に備え置いてください!

四日市港の地域的情報（参考）

1. 四日市港の気象・海象の特性

四日市港は、東側に開けた港であることから、東～南東風の影響を受けやすい。

2. 四日市港の港外避難等に関する勧告基準

(1) 避難準備勧告

発出時期: 荒天準備の必要があると認められるとき、強風域がかかる前に時間的余裕をもって発令する。

勧告内容: 在港船舶は、荒天準備をなし、必要に応じて直ちに運航できるよう準備すること。
危険物荷役予定の船舶は、荷役作業を開始しないこと。

次の事項を遵守すること。

- ・国際VHF16chを常時聴取すること。
- ・レーダー及びAISにより自船の錨泊位置を監視すること。
- ・台風情報、気象海象情報に留意すること。等

(2) 避難勧告

発出時期: 避難の必要があると認められるとき、強風域がかかる前に時間的余裕をもって発令する。

勧告内容: 総トン数1,000トン以上の船舶は、速やかに防波堤外に避難すること。
総トン数1,000トン未満の接岸中の船舶は、離岸して安全な場所に避難すること。

次の事項を遵守すること。

- ・国際VHF16chを常時聴取すること。
- ・走錨防止のため、レーダー及びAISにより自船の位置を連続監視すること。
- ・機関はスタンバイ状態とし、直ちに運航できる体制を保持すること。
- ・最新の台風情報、気象海象状況及びその突然の変化にさらに注意すること。等

3. 名古屋港海上交通センターによる走錨監視及び情報提供

名古屋港高潮防波堤中央堤東端において、風速12m/s以上の風が継続している場合に「走錨注意情報」をAIS及びVHFにより提供しています。

また、AIS搭載船の位置を監視し、走錨している可能性がある船舶に、VHFにより情報提供を実施しているほか、重要施設(昭和四日市石油シーバース、コスモ石油シーバース、E1棧橋)の近くに錨泊しているAIS搭載船に対しては、AISメッセージ等により情報提供を実施します。

4. 走錨が発生しやすい海域

錨泊船が多い東防波堤付近の錨地を含む伊勢湾北部海域では、過去、南東風の影響により走錨が発生しています。

緊急連絡先

○四日市海上保安部／四日市港長:(電話)059-357-1741

○四日市海上保安部(港内交通管制室):(電話)059-351-1970

○名古屋港海上交通センター:(電話)052-398-0712

(VHF)16ch又は13ch「なごやハーバーレーダー」

○海上保安庁:(電話)118番、(VHF)16ch又は12ch「なごやほあん」



最寄りの海上保安部署や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。